（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（北アルプス地域）

令和２年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	教育、文化の振興事業
事業主体（連絡先）	池田町商工会（TEL0261-62-5085）
事業区分	外国籍市民との交流事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	３，４６０，０００円（うち支援金：２，７６８，０００円）

事 業 内 容

長野県が進める多文化共生推進委員会経験者で日本アルプス国際学院での教務実績を持つ教員を中心に日本語講座を開催し、日本語国家資格 N3 または N4 の取得を目指した。日本文化の学びについては池田町日本語教室が担当し、視察研修を行った。
新型コロナウイルス感染症の影響により、12 月の試験が中止となってしまったため、次回の試験に向けて２月に追加講座を開催した。

【日本語教室】

事 業 効 果

・外国人が日本語や日本文化を理解することにより地域へのスムーズな定着、外国人と日本人相互の連携、地域を担う外国人の養成の取り組みができた。
・ものづくり産業から実習生が参加し、日本語レベルの向上ができた。
・地域で暮らす外国人の情報の共有場所として設定できた。
・外国人が気軽に集まれる場所の設定ができた。
※新型コロナの影響で、受講生の多くが受験する予定だった松本市の試験会場が試験中止となってしまったため、当初予定していた成果発表を中止とした。（長野市会場で受験できた受講生の合格率は N4 が 100%、N3 が 50%であった）

【目標・ねらい】

外国人が日本文化を学び、日本語能力をアップするための学習の機会を提供する。

※自己評価【　Ｃ　】

【理由】
新型コロナウイルス感染症の影響により、交付申請時より授業数を減少せざるを得なくなった。

今後の取り組み

令和２年 12 月の日本語能力試験は、新型コロナウイルス感染症の影響で、主催者側の都合により N2、N3 の受講者は試験を受けることができなかった。
したがって事業実施２年目にあたっては、12 月実施の日本語能力試験だけでなく、7 月実施の試験を目指すコースを新たに開設し事業を進めていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある